

□ ■ WEBアンケート ■ □

アンケートにご協力をお願いします。

- ◆回答時間目安： おおよそ 10分
(ご回答の内容により変動します)
- ◆回答可能デバイス： パソコンまたはスマートフォン

※お答えいただいた内容は統計的に処理し、回答者個人が特定されるような情報について公表することはありません。

※前の質問に戻ることができないため、間違いがないようにご回答ください。

※アンケート回答に必要な環境は [こちら](#) をご覧ください。



アンケートや調査は**企業・団体の未発表・未公開情報を含む場合があります**。口頭・SNS(Twitter・Instagram等)などいかなる手段や方法であっても**第三者へ漏えい(再拡散含む)・保存・転載・テスト品などの転売等の全ての行為**を禁止しています。これらの行為は**損害賠償請求・民事訴訟の対象となる場合があります**ので十分ご注意ください。

◆所属団体



◆個人情報管理



◆TOKYO PRO Market ◆ISO20252



同意して開始

「D style web（株式会社アスマーク）」では、個人情報保護の重要性を強く認識し、JISQ15001に則った管理と取り扱いを行っております。（詳しくは[こちらをクリック](#)）

□ ■ 調査主体及び個人データ提供先 ■ □

【個人データ提供先】

- ・ 調査主体会社
（調査会社・広告代理店・メーカー・サービス会社など）

【提供される情報】

- ・ 回答ID
このアンケートに対して個別に振り分けられる番号になります。
お名前や住所などの個人情報を直接提供するものではありません。
回答IDの例：No.1.2...1000...

同意して、回答する

同意しない／回答を希望しない

※「同意して、回答する」を選んだ方のみポイントの付与の対象となります。

必須 F1.

あなたの年齢をお知らせください。(数値記入)
※半角数字でご記入ください。

 歳

必須 F2.

あなたの性別をお知らせください。(1つ選択)

- 男性
 女性

必須 F3.

あなたが現在お住まいになっている都道府県についてお知らせください。(1つ選択)

必須 F4.

あなたが現在お住まいになっている市町村についてお知らせください。 (1つ選択)

▼▼▼選択して下さい▼▼▼ ▼

次 ^

必須 F5.

あなたの職業をお知らせください。(1つ選択)

- 会社役員・団体役員
- 会社員（正規雇用）
- 会社員（派遣・契約など非正規雇用）
- 公務員・団体職員
- パート・アルバイト
- 自営業・自由業
- 農林水産業
- 家内労働・在宅ワーカー
- 専業主婦・専業主夫
- 無職
- 学生
- その他

次 ^

必須 F6.

あなたの婚姻状況をお知らせください。 (1つ選択)

- 未婚・子どもなし
- 未婚・子どもあり
- 既婚・子どもなし
- 既婚・子どもあり
- 離・死別・子どもなし
- 離・死別・子どもあり

次 ^

必須 SC1.

あなたの世帯状況をお知らせください。 (1つ選択)

- 一人暮らし世帯 (単独世帯)
- 夫婦のみの世帯
- 夫婦と子どもからなる世帯
- ひとり親と子どもからなる世帯
- 夫婦、子ども、孫からなる世帯
- その他

次 ^

予備調査のご協力ありがとうございます。

これより**本調査**に移ります。

引き続きご協力お願い致します。

次へ

はじめに、「食品ロス」に関することについて、お伺いします。

必須 Q1.

外食の頻度について、あてはまるものを選択してください。 (1つ選択)

- 毎日1回以上
- 週4~6回
- 週2~3回
- 週1回
- 週1回未満
- まったく利用しない
- その他

次 ^

必須 Q2.

あなたがスーパーやコンビニなど小売店舗で食料品を購入する頻度について、あてはまるものを選択してください。（1つ選択）

- ほとんど毎日
- 2日に1回程度
- 1週間に1~2回程度
- 週1回未満
- まったく利用しない
- その他

次 ^

必須 Q3.

「食品ロス」が問題になっていることを知っていますか。 (1つ選択)

日本では、食料の多くを海外からの輸入に頼っている一方で、推計(※)で年間約523万トンにのぼる「食品ロス」が発生しています。「食品ロス」とは、食べられるのに廃棄される食品のことで、食料資源の浪費や環境への負荷などの観点から問題となっています。

※令和3年度推計(農林水産省・環境省)

- よく知っている
- ある程度知っている
- あまり知らない
- 全く知らない

次へ

必須 Q4.

「食品ロス」について知ったきっかけや媒体を教えてください。(複数選択可)

- 自治体が発行した広報紙
- 国・自治体ホームページ
- 学校の授業
- X (Twitter) 、Instagram、FacebookなどのSNS
- テレビ
- 新聞・書籍
- 街中のポスター
- 食品ロスに関するイベント
- レストランや居酒屋などの飲食店舗でのポスターやPOP
- スーパーやコンビニなどの小売店舗でのポスターやPOP
- 食品ロス削減につながる通販サイトやアプリ
- その他
- 覚えていない

必須 Q5.

外食する際に実施している取組みについて、あてはまるものをすべて選択してください。（複数選択可）

※3010運動とは、宴会時の食べ残しを減らすための運動で、「乾杯後30分間は席を立たずに料理を楽しみましょう。お開き10分前になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう」と呼びかけて、食品ロスを削減するものです。

- 残さずに食べる
- 飲食店等で注文しすぎない
- 外食時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ
- 飲食店で食べきれなかった料理を持ち帰って食べる
- 宴会や会食などの大人数で外食する場合は、3010運動※を心がける
- その他
- 特に取り組んでいることはない

必須 Q6.

食品購入時に実施している取組みについて、あてはまるものをすべて選択してください。（複数選択可）

※1 フードシェアリングサービスとは、飲食店舗や小売店舗等で、おいしく安全に食べられるのに、売り切るのが難しい食事や商品を、アプリや通販サイトを通じて消費者が購入できるサービスです。食品ロスになりそうな食品と消費者をマッチングすることによって食品の廃棄を減らすことができます。

※2 アップサイクル商品とは、廃棄予定であったものを新たな付加価値を持たせて製品とする取組みのことです。食品でも近年、アップサイクル商品が注目され、パンの耳などの端材で作られたクラフトビールや、豆腐の製造過程でできるオカラで作られたクッキーなど、様々な商品が開発されています。

- 期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を優先して選ぶ
- 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する
- 商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する（いわゆる「てまえどり」）
- 恵方巻やクリスマスケーキなどの季節商品を事前予約する
- フードシェアリングサービス※1やアップサイクル商品※2など、食品ロス削減につながる商品を選んで購入する
- その他
- 特に取り組んでいることはない

必須 Q7.

家庭で実施している取組みについてあてはまるものをすべて選択してください。（複数選択可）

※フードドライブとは、家庭で余っている未開封の食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動のことです。近年ではスーパーや市役所などでもフードドライブの受取窓口が設置され、活動が広がっています。

- 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
- 冷凍保存を活用する
- 料理を作りすぎない
- 日頃から冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認して整理している
- 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）など、工夫して食べる
- 防災備蓄食品は、備蓄した食品を定期的に消費し、食べた分だけ買い足していくローリングストック法を活用している
- 賞味期限がまだあるものの使用する予定のない食品はフードドライブ（※）を通じて寄贈する
- その他
- 特に取り組んでいることはない

必須 Q8.

食品ロス削減につながる取組みを今後行いたいと思いますか。あてはまるものを選択してください。 (1つ選択)

- 環境のために積極的に取り組みたい
- 自分にできる範囲で取り組みたい
- 自分にメリットがあれば取り組みたい
- 取り組みたいと思わない
- その他

次 ^

必須 Q9.

外食時に、店舗からどのような働きかけがあった場合に、食品ロス削減につながる取組みを行いたいと思いますか。あてはまるものをすべて選択してください。（複数選択可）

- 取組みに対して、値引き、ポイント還元やクーポンなどの特典がある
- 店舗から、食品ロス削減や環境への配慮につながるとの呼びかけがある
- 食べ残しを持ち帰るための容器の提供がある
- 小盛メニューなど自分が食べきれぬ量での提供がある
- 働きかけがなくとも取組みを行いたい
- どんな働きかけがあっても取り組まない

次 ^

必須 Q10.

食品の購入時に、店舗からどのような働きかけがあった場合に、食品ロス削減につながる取組みを行いたいと思いますか。あてはまるものをすべて選択してください。（複数選択可）

- 取組みに対して、値引き、ポイント還元やクーポンなどの特典がある
- 店舗から、食品ロス削減や環境への配慮につながるとの呼びかけがある
- 簡単レシピなど、食品をすぐに使い切るための情報の提供がある
- 小分けパックなど自分が食べきれる量での提供がある
- 働きかけがなくとも取組みを行いたい
- どんな働きかけがあっても取り組まない

次 ^

必須 Q11.

食品ロス削減に取り組みたいと思わない理由は何ですか。この中で理由として最もあてはまるものを1つ選択してください。（1つ選択）

- 食品ロス削減のために何をすればよいのかわからないから
- 食品ロス削減の取組みが複雑で面倒だと思うから
- 取組みに対するメリットがないと感じるから
- 自分一人が取り組んだところで何も変わらないと思うから
- 周囲の人の目が気になるから
- 食中毒などの衛生面に不安があるから
- その他
- 特に理由はない

次へ

必須 Q12.

普段利用する飲食店舗や小売店舗が、食品ロス削減の取組みを積極的に実施していた場合、どのようなイメージを持ちますか。この中で最もあてはまるものを1つ選択してください。（1つ選択）

- 食品ロスを減らす取組に賛同し、今後も積極的に利用したい
- 自分にメリットがあれば、今後も積極的に利用したい
- 自分にデメリットがなければ、今まで通り利用する
- 特に何も思わず、今まで通り利用する
- イメージが悪くなり、利用する頻度が減る
- その他

次へ